

3-7 その他集会（圏域：全市域）

3-7-1 施設再編の方針

対象施設
別府市勤労者研修センター、別府市社会福祉会館、別府市人権啓発センター、別府市国際交流会館、野口ふれあい交流センター、別府市ふれあい広場・サザンクロス、別府市男女共同参画センター「あすべっぷ」
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none">➤ 別府市勤労者研修センターについては、築年数が経過しており老朽化が健在化しているため、(財)大分県東部勤労者福祉サービスセンターの機能を移転し、利用がない集会室機能は他施設へ集約化します。➤ 別府市社会福祉会館については当面は計画的に保全し現状のまま維持・存続しますが、利用率の向上を図り、収支状況の改善に取組みます。また民生児童委員等の集会機能は、今後の学校の統廃合や、複数の公共施設の集約化に伴い、社会福祉協議会事務所機能とともに他施設への移転の可能性について検討します。市中心部にある現施設については様々な視点から資産の有効活用を図ります。➤ 別府市人権啓発センターは、設置の経緯と目的により、各種人権講座など市民の利用率向上に取り組むとともに、建物の長寿命化を図り、維持・存続します。➤ 別府市国際交流会館は、会館建設時に市が別府大学と締結した協定書に基づき、適正に維持管理します。また大部分が留学生の宿舎であり、指定管理者が利用料を徴収している実態を踏まえ、市から大学へ所有権の譲渡についての可能性を検討します。➤ 野口ふれあい交流センターは、小学校の統廃合による旧校舎を活用した施設であり、当面は存続とするものの、施設の稼働率が低いため有効活用策を検討します。市中心部にあり、土地の効用が高いため、現建物が耐用年数を経過した時点で、他施設の機能移転先など跡地利活用の可能性を検討します。➤ 別府市ふれあい広場・サザンクロスは、市庁舎移転に伴う南部地域活性化策として設置されたものですが、類似の社会教育施設が近隣に複数あり、利用者も減少傾向にあります。また、視聴覚事業は図書館が行っている市町村が多いことから、図書館の施設整備の方向性を踏まえ、図書館への機能移転を検討しますが、図書館構想が明確になるまでの間、現図書館との一体管理も視野に入れた施設運営の効率化を図ります。➤ 別府市男女共同参画センター「あすべっぷ」は、男女共同参画社会の形成という特定の行政目的を持つ専用施設ですが、目的に沿った運営を図るため、本庁機能とセンター機能の統合等を行い、相談・啓発業務の充実を図ります。また、温泉施設、体育館、トレーニングルームが併設されているものの、本来目的の主旨には合わない用途であること、周辺に類似施設もあり代替性があることから機能を縮小し、複数の行政目的を持つ共用施設化を検討します。

3-7-2 現状分析

① 施設の概要

別府市勤労者研修センターは、勤労者等の福利厚生増進にかかわる研修、集会等に供するために設置されたものです。

別府市社会福祉会館は別府市の福祉活動の拠点として平成6年に建築された、木造平屋建の比較的大きな建物です。社会福祉協議会が平成30年度まで指定管理者となっており、同協議会の事務所として利用されています。会議室を貸し出ししており、社会福祉団体の他に茶道・華道の団体などに使用されています。

別府市人権啓発センターは、市民の人権教育及び人権啓発の推進を図るために必要な講演会等の開催等に供するために設置されたものです。

別府市国際交流会館は、外国人留学生等に宿泊施設を提供するとともに、市民と外国人との国際交流を推進するために設置されたもので、別府大学が指定管理者となっています。

野口ふれあい交流センターは、文化活動、体育活動等を通じて地域振興を図り、災害等の緊急時の避難場所として活用するため、旧野口小学校校舎に設置されたものです。

別府市ふれあい広場・サザンクロスは、市民の文化活動及び生涯学習を推進するため、旧市役所跡地に建設した南部振興開発ビル内に設置されたものです。

別府市男女共同参画センター「あすべっぷ」は、別府市男女共同参画推進条例に基づき、市民及び事業者による男女共同参画社会の形成の推進に関する取組を支援するため、その拠点施設として設置されたものです。ビーコンプラザ前にある県有施設ニューライフプラザ内にあり、大分県立社会教育総合センターとの併設となっています。

全ての施設が貸し館機能を持っており、市民の一般利用が可能となっています。

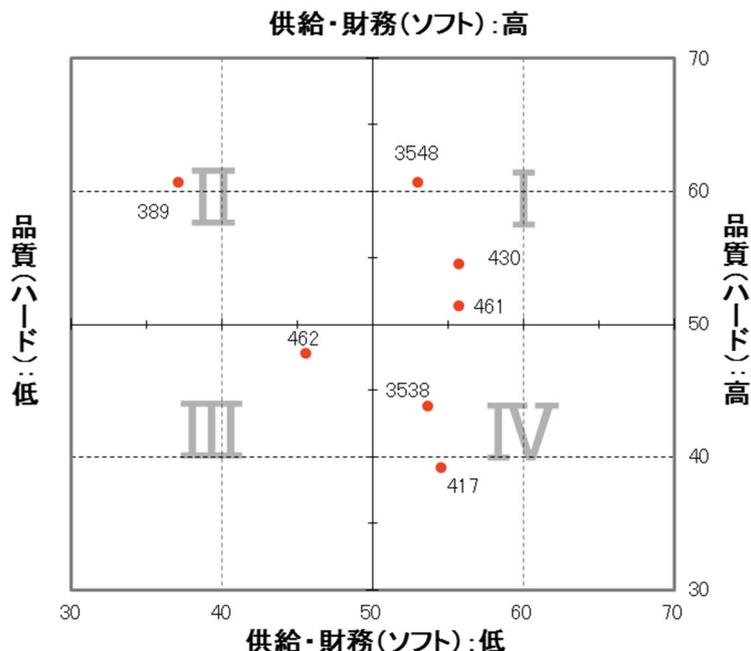
② ポートフォリオ分析結果

その他集会施設は7施設あります。平均築年数は30.6年であり、市全体の施設の平均築年数の33.6年より新しい用途となります。

品質状況については、別府市勤労者研修センター以外は耐震対応が完了していますが、築年数が古い野口ふれあい交流センター、別府市勤労者研修センターの偏差値が低くなっています。

供給状況については、全7施設において部屋の利用率が低くなっており、最も利用率が高い男女共同参画センター「あすべっぷ」も53.2%に留まっています。

財務状況については、面積あたり市負担額、利用者あたり市負担額ともに別府市人権啓発センター、別府市ふれあい広場・サザンクロスの偏差値が低くなっています。



台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給			
			築年数 (年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値		利用率 (%)	偏差値	利用者1人あたり面積 (㎡/人)	偏差値
389	別府市勤労者研修センター	157.1	40.0	44.2	0.0	30.0	37.1				
417	別府市人権啓発センター	242.5	23.8	53.9	100.0	55.3	54.6	16.6	45.7	27.6	43.0
430	別府市社会福祉会館	897.0	20.0	56.1	100.0	55.3	55.7	31.0	55.3	9.3	62.4
461	別府市国際交流会館	2,061.3	20.0	56.1	100.0	55.3	55.7	10.0	41.3	29.7	40.9
462	野口ふれあい交流センター	1,822.9	54.2	35.8	100.0	55.3	45.6	14.0	44.0	32.4	38.0
3538	別府市ふれあい広場・サザンクロス (複合施設)	1,481.9	27.0	52.0	100.0	55.3	53.7	13.5	43.7	18.2	53.0
3548	別府市男女共同参画センター「あすべっぴん」	1,562.3	29.0	50.8	100.0	55.3	53.1	53.2	70.0	9.1	62.7

財務				平均偏差値 (ソフト)	判定結果
面積あたりの市負担額 (千円/㎡)	偏差値	利用者あたりの市負担額 (千円・日/人)	偏差値		
1.2	60.7			60.7	II
23.3	36.2	643.9	31.8	39.2	IV
14.9	45.5	137.5	55.0	54.6	I
0.0	62.0	0.0	61.3	51.4	I
5.7	55.7	175.3	53.3	47.7	III
23.1	36.4	420.8	42.0	43.8	IV
7.6	53.6	106.3	56.5	60.7	I

図 33 ポートフォリオ分析 (その他集会)

③ 老朽化の状況

別府市勤労者研修センターは建築後 40 年以上、野口ふれあい交流センターは建築後 50 年以上を経過した旧野口小学校校舎を活用しており、ともに老朽化が進んでいます。その他の施設の建築年は約 20 年から 30 年程度となっています。

別府市勤労者研修センター、別府市人権啓発センター、野口ふれあい交流センターは旧耐震基準の建物ですが、野口ふれあい交流センターは耐震化が完了、人権啓発センターは調査により耐震性があることが確認されています。

別府市社会福祉会館については、H27 年度に空調設備の更新を行い、H28 年度はトイレの改修を行うなど、適切な管理により、目だった劣化は認められません。

④ 利用状況・コスト状況

(i)各施設の利用状況

別府市勤労者研修センターの利用状況は、勤労者等の福利厚生のための研修等の場ではなく、(財) 大分県東部勤労者福祉サービスセンターによる中小企業者向け福利厚生サービスの提供をしています。平成 27 年度末現在の加入事業者数は 1,029 事業所（うち別府市 703 事業所）、加入会員数は 3,505 人（うち別府市 2,098 人）となっています。

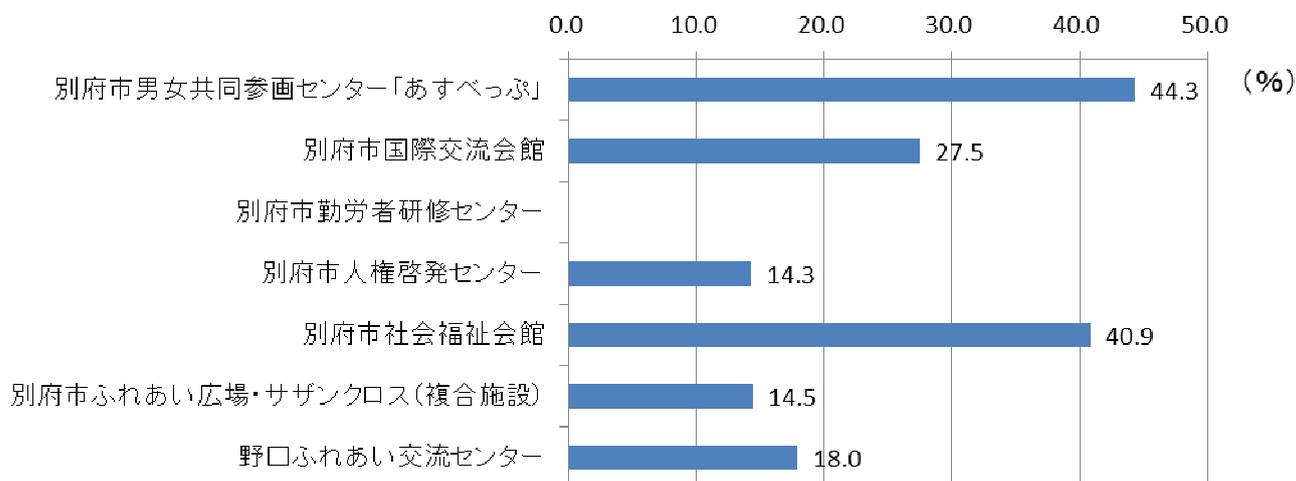
別府市人権啓発センターは、平成 22 年に増築を行い、「人権ミニ講座」や子供たちの学習会を開催するなど、各種団体等の会議や市民の自主活動の場となっていますが、利用率は 14.3%にとどまっています。

別府市国際交流会館は、2 階から 4 階までが留学生の宿舎（53 室）になっており、現在の入居率は 100%です。1 階の講座室や多目的ホール、和室等も含めた利用率は、駐車スペースが少ないこともあり、27.5%にとどまっています。

野口ふれあい交流センターは、耐震補強工事を行っているものの、大規模改修工事を行っておらず、南館は建築後 54 年を経過しています。管理棟 1 階に事務室、集会室（60 人程度）、管理棟 2 階に学習室、図書室がありますが、利用率は 18.0%にとどまっています。料理室や歴史文化展示室（見学無料）もあります。同施設の 3 階に別府市総合教育センターが設置されています。

別府市ふれあい広場・サザンクロスは、視聴覚室、会議室、研修室、講座室があり、主な利用者は主催講座の受講者となっています。利用率はかなり低く、14.5%となっています。

別府市男女共同参画センター「あすべっぷ」は、交流室や会議室、研修室などがあり、相談・交流・学習・情報の 4 つの機能を持っています。講座・イベント等を定期的に行っており、利用率は 44.3%となっています。県有施設を一部引き継いだ経緯から、体育館とトレーニング室が併設され、男女浴室もあります。

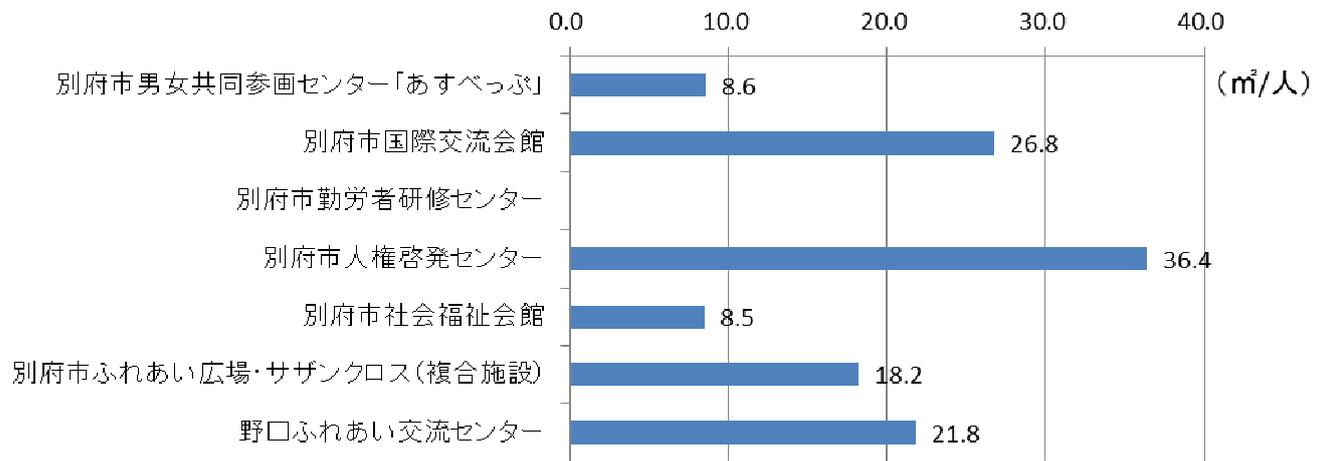


※別府市勤労者研修センターは不明のため算出せず
※平成 26 年度実績に基づいて作成

図 34 各施設の利用率

(ii)利用者1人あたり面積

年間利用者数を開館日数で除することにより、利用者 1 人あたりの延床面積を算出すると、別府市国際交流会館、別府市人権啓発センターの値が相対的に大きくなっており、余裕のある使われ方がなされていると判断できます。



※別府市勤労者研修センターは不明のため算出せず
 ※平成 26 年度実績に基づいて作成

図 35 各施設の利用者 1 人あたり延床面積

(iii)運営コスト

別府市国際交流会館は、留学生宿舎の家賃収入等により指定管理者が運営コストを賄っているため、市の負担額はありません。

別府市社会福祉会館について、市の支出額は 1500 万円ですが収入が少ないため、税金の負担割合は約 9 割と高くなっています。